

第4章 広島県地域医療再生計画における課題への対応

1 課題への方策

○ 再生計画の策定に当たって、広島県の現状・課題を踏まえ、次の方策に集約した。

(1) 深刻化する医師不足への対応

① 医師の量的拡大

へき地医療を担う医師の派遣を自治医科大学卒業医師に依存している状況を改善するため、医師の供給の依存度の高い広島大学及び東部地域への医師の供給を担っている岡山大学の医学部の地域枠を拡大し、地域医療を担う医師の養成を強化し、医師の絶対数を確保する。

また、地域医療の現場と大学教育との連携を図るため、広島大学に寄附講座を設置し、地域医療を担う医師の定着促進を図る。

② 医師の質的拡充

県、市町、広島大学、広島県医師会で構成する新たな枠組みを創設し、地域医療を担う医学生や医師が、「広島県で働くことを望む」ようその環境づくりを一体的に推進する。

また、広島大学、広島県医師会、県、広島市で構成する「広島県地域保健対策協議会」の調査研究機能を充実し、広島県の医療の発展のための調査研究を推進する。

③ 地域医療システムの改善

地域医療の崩壊、とりわけ、中山間地域における医療提供体制の危機状況を改善し医療機能の充実強化に向けて、医療機能の集約化、重点化とともに、連携の促進等地域の取組みを支援する。

医師の供給については、既存の広島大学等への全面的な依存システムから、広島大学、岡山大学及び自治医科大学卒業医の医局である地域医療支援センターが連携し、義務年限内医師等の人材配置調整等の枠組みを創設するとともに、広島県出身の県外医師等とのネットワークづくりにより中長期的な医師確保を図る「ふるさとドクターネット広島」の活用や在京医師等に広島県の医療を紹介し、将来、広島県での就業に結びつけるドクターズ・ナビ等を効果的に行い、県外からの医師のリクルート機能を充実強化する。

(2) 都市部医療機能の危機への対応

① 救急医療機能の再編と強化

広島都市圏の初期，二次，三次救急医療それぞれの機能強化・支援を図ることにより，広島都市圏の救急医療体制を充実強化し，再構築を図る。

初期救急医療体制については，広島都市圏の中で，人口の急増に伴い搬送件数が増加している安佐地区の機能強化とともに，東部地域の二次，三次救急医療機関の負担を軽減するため福山地域の機能強化を推進する。

二次救急医療体制については，広島都市圏における救急医療コントロール機能を担う施設として広島市立広島市民病院を位置づけ，二次救急輪番病院等との連携を強化することにより，受け入れ困難事案の解消を図る。また，救急コントロール機能を有機的に機能させるため，広島市立広島市民病院を支援する医療機関の設置とともに，これを支援する情報システムを整備する。

また，広島都市部の隣接地域に位置し，2.5次救急医療を担っている3医療機関（厚生連広島総合病院（561床），広島市立安佐市民病院（527床），東広島医療センター（431床））について，救急医療機能の強化を図り，都市部への救急患者の流入を抑制する。

(3) 高度化・多様化する高度医療ニーズに対応するための医療施設間連携の停滞への対応

① 広島都市部4基幹病院の医療機能分担・連携の促進

都市部に集中する大規模4基幹病院（広島大学病院，県立広島病院，広島市立広島市民病院及び広島赤十字・原爆病院）の機能分担・連携を推進することにより，高度で効果的な医療の提供体制を充実強化する。

② 高度医療の整備

広島都市部4基幹病院の高度な放射線治療機能の再編・集約化を図り，「高精度放射線治療センター（仮称）」を整備する。

③ 広島医療の魅力増による人材獲得

広島都市部4基幹病院が連携・協力し，小児医療やがん医療などの不足する診療科や高度医療に係る医師を育成するプログラムを開発するとともに，後期臨床研修医，専門医養成研修を実施する。

広島県の医療の特徴

1. 広大な過疎地を擁し、かつ、温暖な自然環境
2. 都市部の人口集中と高度医療資源の集積
3. 人口規模に比較して医育機関（医学部定員数）が少なく医師不足に対して脆弱

広島県の医療の課題

1. 深刻化する医師不足
2. 都市部医療機能の強化
3. 高度化・多様化する高度医療ニーズに対応するための医療施設間連携の推進

アプローチ

1 深刻化する医師不足

① 医師の量的拡大

- ア 広島大学のふるさと枠の拡充
- イ 岡山大学の地域枠の創設
- ウ 広島大学へ寄附講座の開設

② 医師の質的拡充

- ア 県，市町，広島大学，広島県医師会等で構成する「機構」を創設
- イ 広島大学，広島県医師会，県，広島市で構成する「広島県地域保健対策協議会」の調査研究機能の充実

③ 地域医療システムの改善

- ア 医療機関の集約化・重点化の推進
- イ 医師等の人材配置調整機能創設

2 都市部医療機能の強化

① 救急医療機能の再編と強化

- ア 初期救急医療体制の強化
広島都市部，福山市域の体制強化
- イ 二次救急医療体制の強化
広島市立広島市民病院をコントロール機能を担う施設として位置づけ，これを支援する体制整備
- ウ 都市部周辺の救急医療の強化
広島都市部に隣接する3医療機関の救急医療機能の強化

**相乗効果を高めて
地域医療再生を！！**

3 高度化・多様化する高度医療ニーズに対応するための医療施設間連携の推進

① 医療機能分担・連携の促進

- ア 都市部に集中する大規模4基幹病院（広島大学病院，県立広島病院，広島市立広島市民病院及び広島赤十字・原爆病院）の機能分担・連携を推進

② 高度医療の整備

- ア 4基幹病院の高度な放射線治療機能の再編・集約化を図り「高精度放射線治療センター(仮称)」を整備

③ 広島医療の魅力増による人材獲得

- ア 4基幹病院が連携・協力し，小児医療，がん医療等の人材育成，研修機能を発揮

**広島の医療
魅力アップにより
医療人材を獲得**

図表 4-1 課題への方策